

京都総評



京都地方労働組合総評議会：発行

第 261 号

発行所
京都市中京区壬生仙念町30-2 ラポール京都5階
京都地方労働組合総評議会（京都総評）
電話 075 (801) 2308 FAX 075 (812) 4149
E-mail sohyo@labor.or.jp URL http://www.labor.or.jp/sohyo/
〈発行責任者〉 梶川 憲 〈編集責任者〉 吉岡 勝

京都労働相談センター

電話 0120-378-060 E-mail scent@labor.or.jp

主な日程

- 11月20日(土) 民主府政の会第2回全体会議
14:00 ラポール京都ホール
- 12月5日(日) 22春闘討論集会
13:30 ルビノ京都堀川

仕方ないからみんなまで変えるへ

労働組合の魅力伝える大作戦

「変えるリーフⅡ」を総がかりで配布しよう

コロナ禍で収入減、シフト減、解雇や雇止め…。困難に直面する労働者がたくさんいますが、多くは「仕方ない」とあきらめているのでは。

労働組合の姿と魅力を知らせ、「まずは相談を」と労働相談につなげることで、そして、「仕方ない」からみんなまで「変える」へ、「労働組合に入って一緒に変えよう」と呼びかける取り組みとして、「変えるリーフⅡ」の配布を単産・地域ですすめましょう。

新婦人など民主団体へリーフ配布の要請、行政関係の窓口配架してもらう要請、飲食業従事者などを対象にした「繁華街宣伝」や大学生を対象にした宣伝なども検討していくことにしています。

労働組合を知らせよう

全労連の提起を受けて京都総評は、「変えるリーフⅡ」を大規模に配布して労働組合を知らせ、みんなまで変えようと呼びかける取り組みとして、11月から来年1月を「集中期間」に設定し、単産・地区労協で「変えるリーフⅡ」配布計画を立て、単産・地域総がかりで配布

して多くの労働者に労働組合を知らせる取り組みを提起し、11月19日を中心

心内府内一円の37カ所で行います。また、京商連や

まずは相談、そして労働組合へ

困ったことがあっても「コロナだから仕方ない」とあきらめてしまったり、「現状を変えたいけれど、どうしたらいいのかわからない」と思っている労働者が多いので

「困ったことがあればまず相談を」と労働相談センターを知らせ、「労働組合ができること」を伝えてみんなまで変えようと呼びかけ

*単産では

- ・会議前・後に会議会場付近へ配布
- ・職場の近隣への配布
- ・単産では関係する団体への訪問・配架などの要請行動
例) 医労連は、民医連の病院への配架を検討しています。

*地区労協では

- ・会議前・後に会議会場付近への配布
- ・食プロや何でも相談会での活用
例) 亀岡地労協は、食プロ告知の全戸配布と一緒に配布しています。
北上地区労は、食プロ当日に参加者に配布しています。
- ・「〇〇団地全戸配布計画」などの配布計画
→地区労協の計画を元に、京都総評として、単産・地区労協への応援支援要請
- ・地域の民主団体（民商・新婦人・民青・共産党・民医連など）への配架・構成員への配布のお願い回り
- ・公的組織（職安・市区役所・町村役場・振興局・公民館・社協）・地域の諸団体へのリーフの紹介、配架のお願い回り
例) 埼玉では、公民館に配架してもらった事例もあります。
- ・地域のお店などへ訪問し、置きビラの要請回りなど

「変えるリーフⅡ」配布行動内容(例)

お詫びと訂正

総評新聞260号中面、大会での発言紹介で3人目が「徳居洋介代議員」となっていますが、正しくは「得居洋介代議員」です。お詫びして訂正いたします。



「変えるリーフⅡ」一人でも多くの人に届けたい

全労連 全国労働組合総連合

〒113-8602 東京都中央区東船場4-4
TEL 03-5842-5611 FAX 03-5842-5620

労働組合ができること

労働組合は、働く人々の権利を守り、生活の安定と向上を図るために必要不可欠な存在です。労働組合を通じて、労働者の声を届けることができます。

21 秋季年末 要求実現めざし、公務・民間・地域が一体で



「新しいのち署名」への協力を訴える 京都医労連の仲間

11月は秋季年末闘争のヤマ場。京都医労連は全「新しいのち署名」の街頭宣伝や京都府と府議会への要請行動など約200人が参加、建交労は近鉄十条と大久保での駅頭宣伝やパーキングエリアでのトラック労働者の対話行動、JMITUでは門前宣伝行動などに取り組んでいます。職場では年末一時金の

回答を出させ、団体交渉がはじまっています。公務単産は、公務員賃金の確定闘争、会計年度職員など非正規労働者の待遇改善の取り組みなどをすすめています。

地区労協は、宣伝を中心とした「秋の地域総行動」で地域から労働組合の姿を知らせる取り組みをすすめています。

年末一時金をはじめとした要求実現めざして、公務・民間・地域一体で秋季年末闘争をすすめます。

TUBUYAKI

10月、冷房を切ったかと思っただけ、暖房を入れたら、すぐに暖房を入れてはならないほど寒くなったので、今年は秋がなかったのかと思った。最近秋らしくなってきたが、麻生氏が「温暖化で北海道の米がうまくいった」と発言。農家の努力や品種改良を無視した、温暖化にもメリットがあるとする発言として批判されている▼イギリスで気候変動枠組条約の会議(COP26)が開催されている。今回も日本は不名誉な「化石賞」を受賞した。温暖化対策、政治家の意識が問われている▼燃料価格の値上がり。その関係で石油製品・電気料金・食料品などが値上がりしている。賃金が上がらない中で、支出ばかりが増えていく▼舞鶴にアメリカの軍艦が寄港した。この軍艦、日本海でロシアの軍艦と一触即発の事態を香港前に起こしている。そんな軍艦が舞鶴港に労働組合に加入後、会社に子ども保育園通園のための「就労証明書」を求めたら、「強要未遂」として逮捕・起訴された。引続き労働組合つぶしの弾圧問題に注目していきたい。(TF)

京都市役所前で訴える福祉保育労の仲間



◆福祉保育労◆

府労委でのたたかい

10月12日の証人尋問には、元組合役員と京都市の元課長が組合側の証人

労使関係に基づく交渉だった

10月12日と29日に京都府労委で行われた証人尋問で、京都市が実質的な使用者として労働条件を決めてきたこと、そして団体交渉によって処遇改善を行い、処遇要綱によって全館所統一処遇が守られてきた事などが明らかにされました。

証人尋問終え、年明けには結審へ

いよいよよ大詰め

ドクトル本田に 診断と処方箋 聞く 診断と処方箋 「新しいのち署名」に取り組もう



講演する本田宏さん(上)と質問する京都医労連の仲間(下)

データを知ろう 世界的に見ても少ない日本の公的病院。にも関わらず進めようとする統計画。ベッド数あた

り少ない医師・看護師数。また、低く抑え続けられている診療報酬。世界では当たり前となっている医療費無料等、データを示しながらその問題点を指摘。マスコミが報

教育の大切さ

道しない問題を学び、正しい診断が必要と話されました。

生かそう憲法 守ろう9条 11.3憲法集会

市民が 運動を広げる時

11月3日、山音楽堂で行われた憲法集会は1300人が集まりました。「憲法を活かす日本をつくる」市民



結果を振り返り、「選挙だけで社会が変わるものではない。今こそ市民が日常的に運動を広げる時だ」と強調し、沖縄や海外の市民運動から「学ぶことは『あきらめないこと』『勝つまでたたかいをやめないこと』。一人ひとりができるところを広げよう」と呼びかけました。

が社会を変えるにはと題して講演した伊藤千尋さん(ジャーナリスト、9条の会世話人)の話に参加者は大いに元気をもらいました。伊藤さんは総選挙の

のでぜひご覧ください。署名運動をすすめて

署名運動をすすめて

学習会当日は、民医連をはじめ労働組合や地域

社保協で宣伝・署名行動が行われています。すべての組織で、いのちが大切にされる地域をつくる「声」を国や京都府に届けるため、署名の取り組みをすすめます。

他の地区労協から 学び、課題克服へ

左京地区労

議長 小西 悟



左京地区労定期大会団結がんばろう

活動の工夫。実は昨秋が地区労50周年でしたが何をすべきかはまた検討中です。 2 上記の工夫で思いつづけるのは、ホームページ、ブログなどのつながりですが、メール以外に取り組めません。デジタル化の光と影を研究しつつ、生かしていく方針です。

左京地区労は、10月22日に定期大会が無事(何とか?)終了しました。他組合同様コロナ禍の感染防止に留意し、かつ想定外の総選挙さなかつという困難のなかコンパクトな大会をめざしました。議案から一部ピックアップ

プして書いていきます。左京といえは市長選や知事選で「左京だけは勝つ」印象があまりでしようが、決して「お手柄地区労」でなく、むしろ他から学びたいと思っています。課題としては、 1 コロナ禍で対面・接触が制限される中での

3 意外にも街頭宣伝を効果的にできるほど、人流の多い場所は少ないです。まず思いつづけるのは出町柳くらいです。南北に広い左京区ですが我々の把握しているのは点と線などの感じ。 4 その背景は役員、活動者の不足、素因は組合員の加入困難など組合共通の悩みでしょう。その解決は前述の工夫も含め、今後常任幹事会で議論していきます。

地区労協の活動

労働組合の姿を地域に

わたしのオス本

京都市職労 書記長

福本 えりか

をぬって、数日かけて一人で縦走します。歩きながら仕事、恋愛など日常世界の過去・現在を振り返り、そして

自分の内面と向きあう。そうしながらも道々で出会う草花、木漏れ日、風、どこまでも広がる山々の景色を、全身で感じる。旅は道連れ。人との出会いもある。日常のような非日常の登山を経て、また日常を生きる力を得

ていきます。私も登山が趣味ですが、「私にとっての山登りってそれ!」と共感した物語です。ちなみに作者は全く登山経験がないとのこと。けれど読み終わった後は、きっと山を登った気分になりますよ。



書名：八月の六日間
出版社：角川文庫
著者名：北村 薫
定価：704円(税込)

京都市の 不当労働行為救済事件